

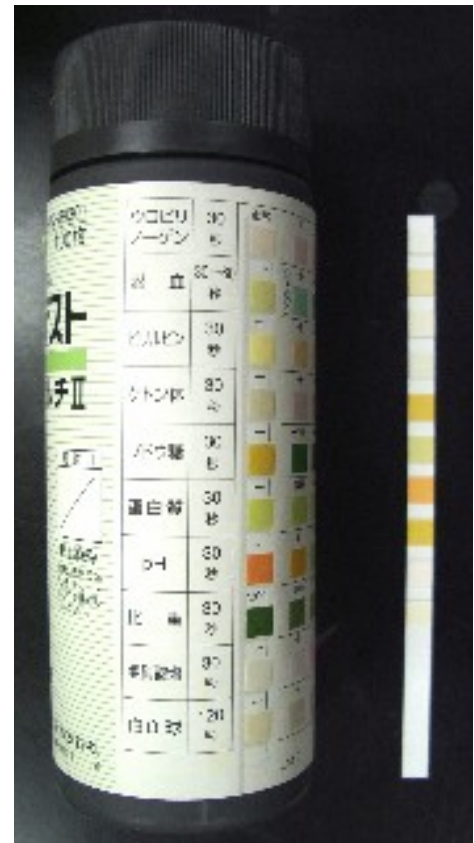
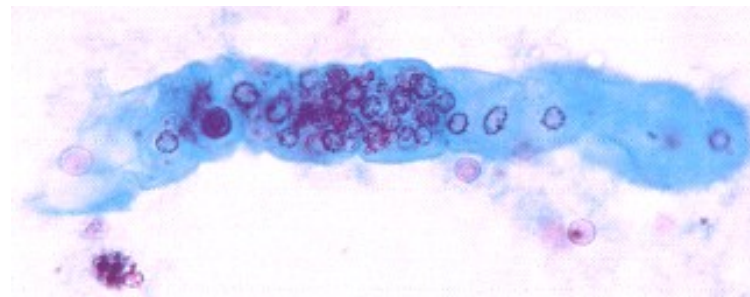
## 一般検査検査室（臨床検査学総論）

皆さんが病院に行った際に、最初に必ずといっていいほど行われるのが尿検査でしょう。その尿検査を含めた血液以外の体液（髄液、胃液、胸水、腹水、関節液、精液 etc）や糞便検査を行う検査室です。尿は、全身を巡ってきた血液からの情報を数多く含んでいます。また、糞便中には、癌の存在を示唆する血液が認められたり、寄生虫の卵が潜んでいることがあります。右写真は多項目試験紙と言って、

尿に浸すことにより、瞬時に尿中物質10項目についての異常を検査することができます。講義では、これらの物質がどのようにして尿中に出てくるのか、どのような反応で検出するのかなどを勉強していきます。

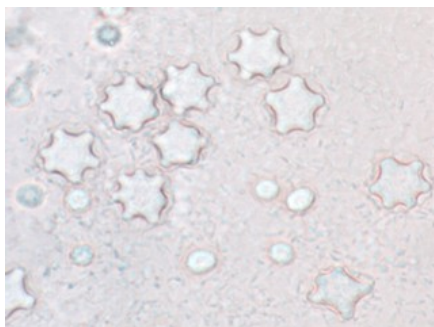
また、尿中には腎臓や膀胱の病気を表す肉眼では見えない小さな成分がたくさん出ており、顕微鏡で観察することにより疾病の診断に役立てることができます。

下の写真は赤血球円柱と呼ばれるもので、腎臓内で出血があり、さらには尿細管と呼ばれる尿が流れている管が一時的に詰まってしまったことを表す成分です。



### 寄生虫検査

豚肉を生で食べてはいけないということは知っていても、なぜなのかはあまり知られていません。実は有鉤条虫という寄生虫の幼虫がいて、もし人が感染すると脳や筋肉に多数の幼虫が寄生してしまうかもしれないからです。日本産の豚肉であればほぼ安全ですが、輸入肉の場合は注意が必要です。寄生虫感染者は、昔に比べれば減少しているのは事実です。しかしその油断が、発見や治療を遅らせる原因にもなっています。右上写真の蟯



虫は今も幼稚園の検診でおよそ5%程度の感染者が見つかります。また、左写真は、土や埃の中にあるアメーバの嚢子と呼ばれるもので、コンタクトレンズ装着者ではこのアメーバが原因となって角膜炎となり、発見が遅れると失明することさえあります。いずれも顕微鏡的観察により診断が可能ですので、見つけるためのコツを学習していきます。